

## キー・トピック

- ロシアとインドがサンクトペテルブルク国際経済フォーラムと東方経済フォーラムでの協調を議論
- ロシア極東開発サイトに投稿された企画案が1万6000件に
- ブリヤート共和国とザバイカリエ地方に新経済特区が設置



## 東方経済フォーラムのニュース

2019年3月27日 「EastRussia」

### スウェーデンビジネスが第5回東方経済フォーラムに招致

スウェーデンの機械製造、木材産業、造船、物流分野の事業代表40人が、ロシア極東とスウェーデンの貿易、経済および投資協力の発展に関するセミナーに参加した。セミナーは3月26日、ストックホルムで、ロシア極東投資誘致・輸出支援局およびスウェーデン在ロシア通商代表部貿易代表により開催された。スウェーデンの事業者らには極東連邦管区での投資可能性が紹介された。

ロシア・スウェーデン対話は、4月9日から10日にかけてサンクトペテルブルクで開催される国際北極圏フォーラムにて継続される。さらに、スウェーデンの経済界は東方経済フォーラム2019へ招致された。同フォーラムにおいては、ビジネスマンは進行中のプロジェクトを目にし、その実施状況の詳細について投資家と議論を交わし、ビジネスパートナーを見つけ、ロシア政府関係者と会談することができる。

<https://www.eastrussia.ru/news/shvedskim-biznesmenam-predlozhili-vlozhitsya-v-proekty-na-dalnem-vostoke/>

2019年3月13日 「タス通信」

### ロシアとインドがサンクトペテルブルク国際経済フォーラムと東方経済フォーラムでの協調を議論

サンクトペテルブルク国際経済フォーラムと東方経済フォーラムのビジネスプログラムの内容が、インドビジネス代表団の3月13日のモスクワへの訪問中に検討された。アントン・コビャコフ氏は、工業分野におけるインド最大級の企業代表団との会合で、「ロスコングレス基金」が主催する主要なビジネスイベントの中で、ロシアとインドのビジネス対話を行うことを提案した。

さらに、両当事者らは、東方経済フォーラム2019の中で、ロシア極東地域の知事らとインド代表団の会合を開くことに合意した。それとは別に、2019年6月にムンバイで同フォーラムをインドで推進するために東方経済フォーラムの特別セッションを開催する可能性が検討された。

<https://tass.ru/novosti-partnerov/6212527>

## ロシア極東における国家政策

2019年3月28日「ロシア新聞」

### 「極東1ヘクタール」の受給者リストが拡大

「極東1ヘクタール」プログラムの参加者らは、受け取った土地区画に家を建てている場合、5年間の無償使用期限が切れるまでに土地区画を個人所有のものとする手続きをすぐに行うことができる。さらに、極東連邦管区の土地区画を同国人移住国家プログラムの参加者らも受け取ることができる。「極東1ヘクタール」プログラムを拡大する法律は、今年の3月28日に発効された。

<https://rg.ru/2019/03/28/reg-dfo/rasshiren-perechen-teh-kto-mozhet-poluchit-gektar-na-dalnem-vostoke.html>

2019年3月26日「タス通信」

### 2021年までに「ルースキー」テクノパークの最初の施設が完成

この旨について、テクノパークのドミートリー・ポロヴィコフ代表が語った。現在、テクノパークは極東連邦大学の敷地内において活動を行っている。施設のコンセプトは、2018年の東方経済フォーラムの結果を受けて、プーチン大統領の指令を基に考案されている。同複合施設には従業員向けの賃貸住宅、社会インフラ、スーパーマーケットなども含まれる。

テクノパークが創設されたのは2017年であった。現在、65社の登録企業が設置されている。基本的にこれらの企業は、ロボット工学、エコロジー建設、生物医学およびバーチャルリアリティの分野において、国内・アジア市場でハイテク製品を開発・販売促進を行っている。

<https://tass.ru/ekonomika/6257712>

2019年3月21日「ロシア新聞」

### ロシア極東開発サイトに投稿された企画案が1万6000件に

ロシア住民向けに、12月15日から開発企画案を「ポータルdv2025.rf」に提出する機会が設けられた。これらの開発案は、2019年9月1日に開始する同地域の国家プログラム考案の際に考慮されることになる。

2035年までの展望を加味した2025年までの国家プログラムは、2019年9月1日までに準備される予定である。同プログラムは現在、ロシア大統領の指示に従って考案されている最中である。国家プログラムは、経済、医学、教育、運輸、文化およびスポーツなどのすべての分野において、マクロ地域生活改善措置を統合することとなる。

<https://rg.ru/2019/03/21/reg-dfo/na-sajte-programmy-po-razvitiu-dfo-ostavleno-16-tysiac-predlozhenij.html>

2019年3月15日「RIA ノーボスチ」

### ロシア極東でコンクール「ロシアのリーダーたち」の受賞者が雇用

ロシア極東での雇用には、管理・運営コンペティションの最終候補者及び受賞者の応募が優先される。これは、コンクール最終日「指導者の日」にユーリ・トルトネフ副首相・極東連邦管区大統領全権代表により発表された。

3月13日から17日にかけて実施されたコンクールの決勝において、トルトネフ副首相は最終選考者らと彼らの計画と目標について話し合い、極東地域と北極圏の発展の提案にも耳を傾けた。

<https://ria.ru/20190315/1551844704.html>

2019年3月9日「タス通信」

### モスクワで第9回ロシア・北朝鮮政府委員会が実施

両国は二国間貿易・経済協力並びに豆満江川に架かる自動車橋、ハサン・ラジン間の鉄道の建設など、輸送分野における多数の共同プロジェクトの実施について議論した。さらに、会議の過程において両国代表団は二国間貿易額を拡大する意向を確認した。

<https://tass.ru/mezhdunarodnaya-panorama/6201215>

## ロシア極東経済ニュース

2019年3月20日「タス通信」

### 12社の企業が約50億ドルをロシア極東開発に向けて投資予定

今年の3月20日にウラジオストクで開催された「投資家の日」イベントでユーリ・トルトネフ副首相がロシアの事業家および日本と中国の大手投資家が携わる数々の投資プロジェクトの実施について議論を行った。審議されたプロジェクトは、農業、造船、先端技術などの分野のものであった。

<https://tass.ru/ekonomika/6237855>

## ロシア極東の新たな発展のメカニズム: 成功の実例

2019年3月14日「RIAノーボスチ」

### ブリヤート共和国とザバイカリエ地方に新経済特区が設置

この旨について、ユーリ・トルトネフ副首相・極東連邦管区全権代表が今年の3月14日に開催されたロシア極東・バイカル地域経済開発に関する政府委員会の結果を受けて語った。トルトネフ副首相によると、二つの新たな経済特区の創設により、20件近くの投資プロジェクトが実施可能になり、60億ルーブル以上のインフラ整備支援金が充てられるという。

「ブリヤート」経済特区では総額247億ルーブルに上る4件の投資プロジェクトの実施が予定されており、2760の新規雇用が創出される。「ザバイカリエ」経済特区では1960億ルーブルの15件の投資プロジェクトが実施予定であり、創出される新規雇用数は9000となる。

<https://ria.ru/20190314/1551796085.html>